

●2008年明けましておめでとうございます

世の中は好景気と言われていますが、それは一部の大企業のもので、多くの企業や個人にとってはまだまだ実感のないものです。さらに石油の高騰、株の暴落、急激な円高と経済に不安な年明けとなりました。

コンサルタント業界にとっては、民間の開発意欲は旺盛で仕事にも現れておりますが、官公庁には予算の制約からまだ明るい話題は多くありません。しかし、コンサルタントにとって多くの逆風にさらされてきた氷河期から、やっと抜け出せそうな節目になる年として期待されている今年であります。

18～19世紀の産業革命以来の大革命といわれるIT革命の真っ只中の現在、コンサルタントの仕事も革命が必要とされているのではないのでしょうか。それは、単なる作業班としての役割のコンサルタントは存在理由を失い、いかに質の高い役に立つ成果を創り社会的な責任を果たせるかにかかっています。このためには我々の意識の改革も技術の向上も必須であります。

こうした状況の年頭にあたり、アルメックが真のコンサルタント集団であるために思いを新たにしております。本年もどうかよろしく願いいたします。

石本 潤（代表取締役）

●北京交通雑感

明けましておめでとうございます。

今年がオリンピック・イヤー北京である。先頃、中国北部の4都市を回り、北京にも3年ぶりに訪れた。タクシーが新車ばかりで、ドライバーのマナーも良く安心して乗れるのには吃驚した。前は、途上国では当たり前の汚いガタガタの中古車ばかりであったのに見事に一新されていた。オリンピックを控え、タクシードライバーの教育と新車購入への補助金交付で、完全に管理しているようだ。随分前の話だが、タクシーに乗ろうとしてドアのノブを引くとガバッと外れ、修理代を取られ、タクシー恐怖症になったのが別の国のようだ。

地下鉄の整備も進み郊外への延伸も進んでいる。日本のように近郊にサービスする私鉄との乗入がないので、30～40km圏迄の延伸も見られる。北京市設計院（日本では都市計画局）で需要予測はどうなっているかを聞くと、見たことがないという。作れば乗るのは当たり前だという顔で、関心事はどうも政治的に決まるらしい整備の優先順位にあるようだ。また、地下鉄やバスの乗降客のマナーも、これが今までの中国人かと思まがうほど良くなっている。

天津までは特急電車で1時間。JRの特急電車に似て車体はスマートで車内も清潔で安心して乗れる。ただ、天津の駅前広場のタクシーは、以前のようにガタビシャで、電車の降客めがけてメーターで走らない客引きが群がり、オリンピック効果はここまで届いていないが、これはこれで中国に来たという感慨も湧いてくる。

しかし、エア・チャイナの機内食は相変わらず不味い。

堀田 紘之（技術顧問）

●街のコンシェルジュ

高齢化した密集市街地を商圈とする品川区中延商店街の中程に、市民のちょっとした困りごとを手伝う「街のコンシェルジュ」があります。  
<http://blog.goo.ne.jp/swd8044.jp/>

中延商店街を中心に、日常生活で不便を感じている高齢者を対象に、中高年のコンシェルジュ約200人が有償ボランティアで支援しています。家事支援（食事づくり、掃除や洗濯など）、軽修理（電球・パッキンなどの取替、庭木の手入れ）、話し相手、買い物補助、送迎サービスなどを提供しています。

その対価は、中延商店街の商品券で支払われます。いくなれば、超高齢社会の相互支援と商店街の活性化をねらった日本初？のプラットフォーム事業と言えるのではないのでしょうか。

その効果は、商店街は品揃えやサービスの工夫などの意識改革に繋がり、コンシェルジュの利用者は地元との繋がりができ、多くの人と知り合えたなどの声が

聞かれます。

またコンシェルジェ事業のほか、中高年の交流を促進するため、出会いの場“街中サロン”を設け、“楽習教室”も開催しております。  
これらの活動は、書籍「街のコンシェルジェ（発行 東峰書房）」で体系的にまとめられています。

文責者：NPOバリアフリー協会専務理事 沢田 藤司之  
紹介者：高尾 利文（第二計画部）

---

発行責任者：代表取締役 庄山 高司  
事務局：株式会社アルメック 業務部  
東京都目黒区青葉台 1-19-14  
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210  
Eメール [hotnews@almec.co.jp](mailto:hotnews@almec.co.jp)  
ホームページ <http://www.almec.co.jp>

---

Copyright 2008 ALMEC Corporation. All rights reserved.